

まつお新聞

発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)



初冬の松尾に 約900人のランナー!



12月3日「みなみ信州駅伝・ロードレース大会」が飯田市総合運動場陸上競技場を発着点とした周回コースで開催され、エントリーした991人が初冬の松尾を駆け抜けた。この大会は飯田市体育協会主催で行われており、今回で2回目となる。

松尾地区からは駅伝に、松尾公民館Aと松尾公民館B、勝野公民館長率いる松尾ランニングクラブが出場した。また、会場が松尾地区ということもあり、松尾小学校や緑ヶ丘中学校の生徒も多く参加した。

秋の探勝会 特別公開の国宝を堪能

公民館主催の「深秋の探勝会」は、申し込み開始直後に、キャンセル待ちが出るほどの人気企画となった。11月2日早朝、定員いっぱい44人で公民館を出発。恒例のニックネーム付きの自己紹介をした後、勝野館長の間をあげずに繰り出すレクリエーションを楽しんでいるうちに、京都東寺に到着した。

東寺では、色づき始めた紅葉の中、秋期特別公開中の宝物館、徳川家光の寄進によって竣工した五重塔なども見学し、当時へ思いを馳せた。

昼食は、新・都ホテルの豪華なバイキング。あれもこれもと満腹にいただき、京都国立博物館の特別展覧会へ。展示物すべてが

国宝ということもあり、それぞれの展示物に先人の思いを感じながら見学をした。なかでも、金印は20分待ちの列ができるほどで、間近に見られる国宝に魅了させられた。

川柳優秀作品

縄文のピナス 隣の席は 仮面の女神
かみさんは 縄文ならば ピーナスだ
くらがりに 五十年ぶりに 手をひかれ
けんちゃん
玉ちゃん
としみちゃん



京都国立博物館正門前

6年生がモデルロケット打ち上げ



11月8日、松尾小学校6年生4クラス143人を対象に、出張科学実験教室が行われ、モデルロケットを1人1基製作し打ち上げた。この日製作したのは、火薬エンジンを使った本格的なモデルロケット。カレンダーやフィルムケースなど、身近な物を利用し作った。2回の授業で2クラスずつ、およそ70人の生徒が、事前にもデルケットの作り方を学んだ。30人がそれぞれ指導に当

たった。小雨の降る中、皆でカウントダウンをし、スイッチが押されたロケットは、炎と白煙を吐きながら一気に空へと舞い上がり、グラウンドは「おーすーい」「わー上がった」などの歓声に沸いた。松尾青少年健全育成会が主催し松尾サイエンスと飯田市の科学教育ボランティアもおもしろ科学工房が共催しているこの取り組みは、今年で7年目となる。育成会の松澤英明会長は、「松尾には、『松尾の子どもは松尾で育てる』という理念があるが、松尾の子供たちのために、地域の皆さんが平日に集まってくださることがありがたい」と語った。

松尾写真クラブ

私たちは28年3月に松尾公民館を教室として松尾近郊の人たちで発足しました。講師は榎飯田スダジオの白井俊弘氏にお願いし、初心者からベテランまで男女13人で、毎月第3水曜日(午後7時)に活動しています。講師の先生に会員の作品を講評していただき、技術の向上を目指すとても楽しい教室です。

春は近郊の中川村大草と座光寺の桜を、秋は八幡様で紅葉の撮影会を行いました。また他の写真クラブに同行して、木曾の王滝村にある自然湖や飛騨の高山などに撮影旅行をしました。

作品は松尾公民館のギャラリーに展示し、文化祭にも出展しました。その他、フリーマガジンの「写真刊」の、12月号には全会員がお気に入り写真掲載し、松尾写真クラブの誌上写真展として発表しました。写真に興味がある方は是非公民館までお越しください。



平成29年 こんな年でした

- 文化祭2日間にわたる芸能発表会(2月)
- 「オーケストラと友に音楽祭2017コミュニティコンサートin松尾」名古屋フィルハーモニー交響楽団の吹奏を傾聴(5月)
- 「人形劇フェスタ 松尾地区公演」各会場で特色ある公演(8月)
- 「松尾地区市民運動会」3年ぶりの開催(10月)
- 「松尾小6年生 モデルロケットを飛ばそう!!」開催(11月)
- 鳩ヶ嶺八幡宮をライトアップ(11月)

松風

年末年始に向けて荷物の整理をしていると、過去に小学校で配られた飯田の古墳群の参考書が出てきた。この参考書は、一年前に他界した父の遺品だ。遺品と言っても、もともとは子供たちが進級する際に、処分する予定の教科書や参考書の山から、父が「ほしい」と言っ捨てられるのを免れた資料のひとつだ。▼今は中学生になった娘の小学校最後の一研究で娘と私の父の3人で松尾の古墳を巡った際に父が取り出してきたものだった。▼父が娘に一生懸命説明する傍ら、全く歴史とか地理に興味のない私は「ふーん」と空返事していたことを思い出す。もうちょっと真剣に聞いておけば良かったかなと後悔しながら資料を開いてみる。見覚えのある写真を目にすると、意外にも父が語っていた話や石室のひんやりとした感じ、虫に驚いて飛び出した娘とそれを笑って見ていた父の顔などを思い出した。▼将来、自分の孫に松尾にある古墳のことなどを伝えてあげられるだろうか? いくつか孫と一緒に松尾の古墳を巡るとき、思い出と一緒に持ち出して伝えられるようにしたい。

松尾の人口
男子 6,179人
女子 6,884人
計 13,063人
世帯数 5,020世帯
11月末現在

平成29年度 松尾地区市民運動会!!

総合優勝 明区 戸数割優勝 上溝区

運動会得点結果表

種目別													
分館名	さ傘	ツヨット	なわとび	壮年会	競ムカ走	競パン食い	あわてて	ウオータ	ラッキーク	パワー	クイズ	リレー	役員
上溝	24	35.5	42	5	43.5	17.5	30	10	15			30	30
久井	12	12.5	9	15	9	5.5	20	20	15			25	10
水城	12	48	21	20	24	2.5	30	30	5			25	15
新井	16	24	36	10	39	8.5	20	5	15			40	20
寺所	12	19.5	28	15	7.5	14	15	30	35			40	5
明	10	39	52	20	26	20.5	10	25	40	40		20	25
清水	14	22	18	30	6	11.5	10	10	15			30	15
城	16	24	10	30	21	10.5	5	25	5	85		15	25
八幡町	4	26	31	25	21	10	25	15	5			35	10
代田	12	23	48	5	14.5	21.5	15	20	5	5		35	20
毛賀	12	20	5	25	13.5	10	25	5	25	35		20	30
常盤台	8	12.5	3	10		3	5	15	25	15		15	5

総合			戸数割		
分館名	総合点	順位	分館名	戸数割	順位
明	327.5	1	上溝	1.308	1
上溝	282.5	2	寺所	1.256	2
城	271.5	3	清水	1.113	3
新井	233.5	4	久井	1.020	4
水城	232.5	5	水城	0.953	5
毛賀	225.5	6	新井	0.898	6
代田	224.0	7	八幡町	0.855	7
寺所	221.0	8	明	0.835	8
八幡町	207.0	9	城	0.799	9
清水	181.5	10	代田	0.576	10
久井	153.0	11	毛賀	0.475	11
常盤台	116.5	12	常盤台	0.443	12

応援コンテスト

- 〈元気いっぱい賞〉 新井分館
- 〈ユーモアいっぱい賞〉 寺所分館
- 〈そろっていた賞〉 上溝分館
- 〈区民と一緒に盛り上がった賞〉 代田分館

10月8日、松尾地区市民運動会が3年ぶりに開催された。新しい種目も取り入れられ、競技で上位を目指そうと熱くなる区民や、新種目を楽しんで参加したいと考える区民など、総勢およそ3000人が参加した。



盛大に行われた運動会で総合優勝ができたうれしく思います。これは、体育部役員の努力と参加いただいた多くの方の「自らすすんで意欲的にやろう」という意気込みの賜だと思います。この意気込みが、明地区の宝のように思います。



総合優勝 明分館長 近松志津夫



今年の運動会は晴天に恵まれて、待ちに待った大会ということ、盛大に燃え上がることができました。半年前から準備を進めてこられた実行委員をはじめ、各分館の役員および参加していただいた皆様方に深く感謝申し上げます。



「松尾の宝」 実行委員長 勝野 薫

3年ぶりの運動会。雨天が続いた10月であったが、この日は奇跡的に晴天となり、久しぶりのかけっこ、綱引き、ムカデ競走等々堪能しました。準備から運営まで、大変にご苦労いただいた実行委員の皆様へ深く感謝申し上げます。



久し振りだ!!! 大会長 小本曾博人

私たちが体育委員会の役目は、体育事業を通じて各分館のコミュニケーション作りの一助をなすことだと、改めて感じさせていただきました。運営に関わっていた、いた全ての皆さんに感謝し、来年も晴天なることを祈りつつ、区民の皆さんと共に歴史を刻んでいきたいと思っております。

雨男と言われている2年間、この悔しさをバネに今年の運動会の準備活動を始動したのが7月からでした。今年は多くの分館体育部長さんが入り替わり、また2年間のプランクのせい、記憶を辿りながらの3カ月があったという間に過ぎていきました。前日準備は午前中の雨のおかげでグラウンドのコンディションを見ながらの対応になりましたが、改めて水捌けの良さに感謝しながら当日を迎えることが出来ました。多少の不安を抱えつつ第82回の松尾地区市民運動会が晴天の中スタートしました。どこの分館も大いに盛り上がり、出場する選手も活き活きとした笑顔で競技に参加している姿が安心と感激を与えてくれました。



2年間の思い熱く 体育委員長 森下 廣一

各地区で文化・芸能発表会

紅葉深まる秋の11月、松尾地区では各分館で文化祭や芸能祭が行われた。

久井区

11月4・5日の2日間、久井集会所で文化祭が開催された。絵手紙や生け花・写真・絵画などの展示、農産物の販売、広報部による



無農薬野菜について説明する市瀬さん

『強い野菜』づくりをテーマにした分りやすい話で、予定時間をオーバーするほど質問が多く出された。参加者からは「自分の知識の再確認ができた」「これからの畑作りに活かしたい」という感想があった。

水城区

11月12日に水城コミュニティ消防センターで文化祭が行われた。1階の作品展には手まり・苔玉・折紙で作った造花・手作り人形などが出展され、2階の大広間では健和会病院の協力で70歳以上を対象に骨粗鬆症の検査と健康チェックが行われた。



この人を見かけたら連絡を！

上溝区

11月19日、上溝集会所では区民の長寿を祝う敬老会

と行われた。参加者の一人佐々木伸一さんは「もう1回作れと言われてももうできない、童心に返って作業できた」と感想を語った。

最後に野々村京子さんから、宮内庁ご用達の「紅の水引」を作っている

と紹介があった。現在飯田・下伊那でその技術を持つているのは、3代目社長だけだという。参加者は「そんな伝統技術を持つた人に指導を受けることができ、貴重な体験ができた」と話した。予定時間の1時間を超過する熱の入った水引教室となった。

城區文化教養講座

水引で正月飾り「上手にできるかしら」



見本を見ながら製作

11月12日城集会所で、文化部主催の「水引で正月飾りを作ろう」が行われ、区民30人が参加した。村沢敏夫分館長のあいさつのもと、講師に野々村水引店3代目社長野々村義之さん、妻の京子さんを迎え、水引を使った正月飾りの作り方の講座が開催された。参加者は2人ペアになり作業開始。一般的な飾りとしておなじみの「あわじ結び」の作り方を教えてもらい、続いてしめ縄作り、最後はあわじ結びをしめ縄に取り付け、幣束を付けて完成。新しい趣向で行った本年は、にぎやかな雰囲気の中和気あいあい

清水区

園の子供たちの踊りにカラオケクラブの熱唱と盛り上がり、最後には上溝ふれあいサロンの会員と会場の参加者が「ふるさと」の合唱で一体となった。



楽しいひとときを満喫中

11月23日、午後1時から清水コミュニティ防災センターで清水区主催の敬老会

50人の児童が参加した。初めに落ち葉や切り紙を落として形により様々な落ち方があることを観察した。次に風船などの小道具を使った遊びをおして空気のことを学んだ。

続いて、子供たちが折りたたんだ新聞紙にうちわで風を入れて膨らませる、大きな「新聞紙のドーム」を作った。子供たちが完成したドームの中に入り、一斉に歓声をあげてドームを破って脱出。

最後はスライムで風船作り。コップに洗濯のりを溶かした水溶液を入れ、ホウ砂を加えて箸でかき回してスライムが完成。それを掌に乗せてストローで膨らま

明区

「ふるさと」を合唱



「みどり座」公演

が開催された。昨年度喜寿になった77歳以上の区民を招待したところ、今回は25人が来場した。

新しい試みとして8月の人形劇フェスタで清水公演をした緑ヶ丘中学校「みどり座」を招き人形劇『欲張らない心』を上演した。

壮年会は「高原列車は行く」の曲に合わせて20人がご長寿体操を踊り会場を盛り上げた。高齢者クラブ清水区会は清水区の故代田銀太郎さんが作詞した「あゝモ

せる。最初からすぐに大きく膨らませる子やなかなか膨らまない子もいたが、教室が終わる頃にはほとんどの子供が上手に出来るようになった。なかには自分の顔より大きく膨らませる子供もいて、「わーすごい」と歓声が沸いていた。



見て見て！こんなに膨らんだよ

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時

本のリクエストも受けつけています。

公民館の主な行事予定 (1月～3月)

- 【1月】 7日(日) 松尾地区成人式
- 28日(日) 分館対抗ふらばるバレー大会
- 【2月】 3日(土) 松尾地区文化祭
- 4日(日) 松尾地区文化祭

県防災訓練 最悪の事態を想定して

11月5日、平成29年度長野県総合防災訓練が、防災関係機関や地域住民連携により実施された。飯田市川路多目的広場、飯田女子短期大学、飯田市立病院などを会場に、159団体およそ3000人が参加した。

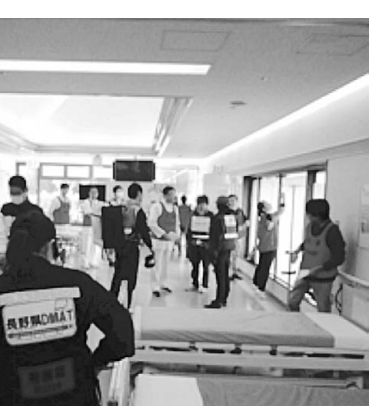


大型ヘリを一目見ようと人だかり...

この訓練は、北信・中信・東信・南信それぞれの市町村を24ブロックに分けて毎年行われている。飯田市を会場に行われるのは実に25年ぶりのことだ。今回の想定は、3日前より降り続いた雨により毛賀沢川合流点付近の堤防が決壊し松尾が水浸しになる。飯田市消防団第5分団などが避難を促すなか、駿河湾沖地震が発生し、飯田市は「災害対策本部」を設置。時を同じくして、市内で有毒物運搬車両の事故により有毒物が流出した。毒物処理班が作業するなか、ライフ

ラインが復旧したことによる通電火災が発生し、消防車が消火に急ぐが寸断された道路が行く手を阻む。そして新たに伊那谷断層帯地震が発生し飯田市は壊滅状態に陥ったというものだ。市から要請を受けた県は「現地災害対策本部」を設置した。

加した市民もいた。市立病院では処置のため、待合室の椅子が取り払われた。たぐさんのベツドが置かれた。また川路かわらんべなどを会場にスタンプラリーも行われた。



市立病院での活動の様子

県警による交通整理、NTTなどが基地局を作り情報伝達、ボランティアのバイク隊が被害把握、イオンやコープなどの等が物資運搬、消防の特殊作業車によるがれき撤去、災害救助犬による救護者捜索、日赤奉仕団がカレーライスの炊き出しを行うなど総合的な災害応急対策訓練となった。

また要請を受けた自衛隊と災害派遣医療チーム(DMAT)などによる被災者救出のほか、中部電力の高圧電源車を自衛隊の大型ヘリが吊り上げ輸送する場面もあり、めつたに見られない光景を見学するために参

の時もそうだったが、公で助けられる人の数は一握り、一人一人が災害時にはどうしたらよいかを各自で考えることが大事」と強く語った。

11月26日地域の安全を考える機会として、第9回松尾地区地域安全大会が開催され約150人が参加した。メインは、「子供と女性の安全対策」と題した飯田警察署生活安全課長の萩原剛さんの講演。最近増加している声かけ事案など身近な話題を、動画も交え分かりやすく語り、「今後も防犯活動や交通安全など啓発活動を中心に活動してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します」と話した。



松尾の魅力と和菓子から学ぶ

11月11日、平成29年度成人式実行委員会の5人が、地域学習会として和菓子作りをした。

この日は、八幡町区の松寿堂の社長で、和菓子組合会長の黒田誠さんを講師に招き、柿や菊など季節の風物詩をかたどる繊細な細工を施した練切りと呼ばれる生菓子を作った。

黒田さんは、「江戸時代、今という転勤でお殿様が異動するときは、料理人や菓子職人なども一緒に供する。

師を行っている。

飯田には関西の方からお殿様が来ているので、言葉もそうだが、菓子も影響を受けている」と歴史を辿りながら手際よく見本となる生菓子を作った。

5人は、触りなれない館の感触に戸惑いながらも、見本に忠実に仕上げている。「生菓子はパツと見てそれと分かるほうが、面白みがあつていい」と話す黒田さんは、毎年飯田下伊那の中学校などで体験学習の講師を行っている。

参加した木下彩穂さんは、「一切るのが難しかった。職人さんはすごい」と話し、長谷部可純さんは、「思ったより上手にできた」と話した。

地域学習会に和菓子作りを選んで理由として、水引や天竜舟下りが有名なことには知っていたが、和菓子も有名だということを知って、作ってみたいと思ったことを挙げた。

友保宏梨さんは、「小中学校で和菓子作りの体験をして自分たちの町を知れば、もっと盛り上げていけると思う」と話した。

参加した木下彩穂さんは、「一切るのが難しかった。職人さんはすごい」と話し、長谷部可純さんは、「思ったより上手にできた」と話した。



平成29年度 成人式実行委員の5人

120人が公民館を大掃除

11月23日、松尾公民館の大掃除が実施された。これは飯田市社会教育関係団体として松尾公民館に登録している主に文化系の団体のうち、その年利用実績のあった団体に依頼し、毎年この時期に行っているもの。この日は77団体120人が、雑巾や窓拭き用のぼろ布、掃除機などを持参し10時に公民館ロビーに集合。割り当てられた担当箇所に分かれ、約1時間かけて全館を磨き上げた。各部屋の床や窓はもちろん、ホワイトボードや机、ドアに至るまで徹底的に清掃。トイレやベランダ、実習室のガスコンロ、下駄箱の掃除、給湯室の湯のみ茶碗の漂白までも行った。

の時もそうだったが、公で助けられる人の数は一握り、一人一人が災害時にはどうしたらよいかを各自で考えることが大事」と強く語った。



脚立に登って隅々まできれいに！

参加した「ヴァイオリンアンサンブルの会リトルチュチュ」の永井千文さんは「日頃、無料で利用させてもらえるのはありがたいこと。この機会に精一杯ご奉仕したい」と雑巾を持つ手に力を込めていた。

11月18日に開催予定だった第3回松尾郷土芸能まつりは、雨天のため中止となりました。

自治振興センター 職員 佐々木寛子 (退職)



保健師 吉川 貴子